

はにい

先生へ

平成24年10月25日

佐藤先生（仮名）へ

いつも学級通信をありがとうございます。特に今回の23号は、子ども達の感想がとても素敵です。体育部門が、当初の教育的な目的を達成できているように思えます。

みんなに聞かせてあげたい感想がたくさんありました。タイトルは佐藤先生がつけられているのですか。タイトルが佐藤先生の教育的な意図をあらわしているように感じます。

特に、「上級生がひっぱってくれてがんばれた」あたりは、3年生が聞いたら本当にうれしいし、そういつてくれる1年生が好きになると思います。どこかで使わせていただきたいと思います。

私の写真も使っていただき、感謝です。

高橋（仮名）

——同じ校内にいるのに、校長先生がこうして職員にメールでメッセージを送るのはどうしてなんですか？

「私はできるだけ職員室にいたいと思っていますんですが、出張が多い上に、電話が多い。職員室には10分といられませんよ。学級通信もそうですけど、対話というのは匂を逃すと間が抜けていってしまう。会って話すチャンスを待っていたらいつになるやらわからない。メールだったら、お互いの都合がつかなくても一両日中にはだいたい読んでもらえるでしょ。」

——なるほど。

他の先生へ宛てたメールには、こんなことも書いてありました。

（学級通信は）特に、生徒の「生の声（感想）」があると、一層心に迫ってきます。これは、いつもそういう材料を集めていなければ出来ません。また、担任としての素直な思いが書かれていると、生徒とのよりよい信頼関係をつくると思います。鈴木先生（仮名）の、学級経営者としてのセンスを感じます。

心の中にいくら良いことを思っても、それを出さなければ決して相手に伝わらない。この学級通信が「クラスの仲間がこんなふうに思っていたんだ．．．」「担任の先生は、こんなに私たちのことを思っていたんだ」と、互いの良さを実感する手助けの役割を果たしていると思います。

私も、校長としての話をする時に、いつも意識していることです。

「本当は、直接話せばいいんですけどね。じっくりと。」
校長先生は、ひとり言のように、そうおっしゃいました。

おはようございます(〜o〜)

渉外関係や校長会や様々な役員などのお仕事でお忙しいのに
学級担任の通信をこまめに読んでくださって本当にありがたいです。

生徒感想のタイトルは自分でつけています。
愛読してくれる生徒や保護者の気持ちを大切に、読みやすくということを考えて
自分なりに付けています。

続けて出していれば、
生徒も保護者も楽しみに読んでくれるので、
それが自分の励みです。

高橋校長先生にお褒めの言葉をいただけて、
さらに励みになりました。

ありがとうございます。
これからもできる範囲で、取り組みたいと思います。

佐藤!(^^)!

かながわ元気な学校づくり通信『はにい』とは、
学校が元気になるように・・・
先生の仕事を受けとる
学校に携わる大人たちがしていることを受けとる
そして、もちろん子どもたちの育ちを受けとる
そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp